

NEWS LETTER

1・2年生
夏休み
それぞれの夏休みを
過ごしています

ただいま学生は夏休み中です。新型コロナウイルスの影響から、不要不急の外出を避けつつ、ボランティア活動（非常事態宣言前）や教材製作などそれぞれの夏を過ごしています。2年生は9月の教育実習（幼稚園での実習）に向けての準備、そして就職活動に励んでいます。さて、名短では1年生の夏休みに「自分だけのオリジナルの教材」で、「保育者になっても長く楽しめる教材を作ろう！」というねらいのもと保育教材を製作します。こちらの写真は昨年の様子ですが、製作した教材を仲間に披露しています。また、実際に2年生の実習で使用している学生も多く、自分で作ったからこそ自信を持って演じることができ、子どもたちにも手作りの温かみを感じてもらえる素敵な教材に仕上がっています。



公務員試験合格者の声！

私が受験した自治体の試験は他に比べて試験の時期が早く、特に1次試験での保育に関する筆記試験では月案、週案、日案、保護者への連絡、基礎知識の全てを参考書を買ってコツコツ自分なりに勉強しました。不安なことや実技、面接など全てのことに対して、ゼミの先生や身近な先生に相談したり、よく見てもらったりしてアドバイスを貰っていたので、自信を持って試験に挑むことが出来ました。

集中講義 “私たちの地球について考える”

前期終了後に夏季集中講義が行われました。この講義は、温暖化や環境破壊の影響で地球の未来が不安の中、次世代を担う子ども達が幸せに暮らせるように「今、私たちができること」を考えます。私たちの地球を守るために何ができるのか、自分の考えを周りの人たちに伝えられるようになることが目的です。授業の中で食品ロスについて学びました。そして家の冷蔵庫や戸棚に食品ロスにつながりそうな食材はないかを調べ、賞味期限間近な食材を使ってお弁当を作ってきてもらいました。環境を考えたお弁当容器、食材の組み合わせ、調理の工夫がある素敵なお弁当でした！今後、地域の散策やごみ拾いの活動を通して、地球について考えます。



保育科の魅力
教えて！センセイ

Vol. 4

「子ども家庭支援論」を担当している新沼です。保育者は子どもの保育と同時に「保護者を支援すること」がとても大事な仕事です。この科目では保護者の子育て上の悩みを聞くための技術や、子育て家庭に寄り添うための方法について勉強します。みなさんにも保護者の子育てに寄り添い、ハイハイができた！上手にお話してきた！給食を残さずに食べた！と子どもが育つ喜びを保護者と分かち合ってほしい、そんな思いで授業をしています。



新沼 英明 准教授

担当科目：子ども家庭福祉、子ども家庭支援論、保育実習
他

☆ キャンパスを紹介 ☆

キャンパスには、売店と2つの食堂があります。そして、キッチンカーもきます。新型コロナウイルスの影響で黙食が掲げられていますが、学食もキッチンカーもどちらも美味しいランチを提供しています。日替わり丼や定食、小鉢がリーズナブルな価格で提供されていますので、ワンコイン、いや400円あればお得で美味しいご飯が食べられます。学食の人気メニューは、鶏マヨ定食です♡キッチンカーの人気メニューは豚丼。そして、アイスクリームも販売しています♡



保育科のゼミ活動

専攻科生 りんくうビーチのごみ拾い

専攻科生のゼミでは、SDGsについて考える活動を行っています。前期は、食品ロスや海洋汚染に取り組みました。りんくうビーチのごみ拾いでは、海にはたくさんのプラスチックごみがあること、飲みかけのペットボトルがたくさん捨てられていることに驚きながら、様々なごみを拾いました。温暖化をくい止めるために、まずは自分ができることから取り組もう！

